

認知症って何？

～9月は「茨城県認知症を知る月間」です～

認知症を正しく理解し、安心して生活できる地域づくりを目指しましょう。

認知症とは、どんな病気ですか？

脳に何らかの原因で障害が起き、脳の機能が低下することで、「物忘れ」や「判断能力低下」など、日常生活がうまく行えなくなる「脳の病気」です。

《認知症の主な症状》

- 記憶障害**…最近のことを忘れてしまう。
同じ質問を繰り返す。
- 見当識障害**…今がいつなのか、ここがどこなのか分からなくなる。
- 判断力の低下**…真夏でもセーターを着る。
真冬でも薄着で外出する。

お気づきですか？ちょっとした変化 ～認知症を知らせる信号～

次のような症状がある場合は、主治医や専門医に相談しましょう。

- 同じことを何度も言ったり、聞いたりするようになった。
- 物の名前が出てこなくなった。
- 置き忘れやしまい忘れが目立つようになった。
- 以前はあった興味や関心がなくなった。
- 水道蛇口の閉め忘れ、ガスの火の消し忘れが目立つようになった。
- 財布やお金、物などを「盗まれた」と言うようになった。

高齢者虐待を知っていますか？

～全国で年間1万件以上もの
高齢者虐待が起きています～

厚生労働省の調査によると、高齢者虐待をしている人の半数以上が、「**高齢者虐待をしている**」という自覚なしに、虐待にあたる行為をしていました。あなたも気づかないまま、不適切な対応をしていませんか？気がかりなことがありましたら、城里町地域包括支援センター（保険課内）へご相談ください。

- 言ったようにできないので、つい手が出たりどなったりする。
- 善悪をわかってもらうため、叩いたりすることがある。
- 高齢者が話しかけても、無視してしまう。
- 介護や世話が大変なので、面倒をみない。
- 高齢者の年金や預貯金を本人に無断で使用している。
- 認知症や寝たきりの高齢者がいるが、世間体が悪いので、本人を訪ねてくる人がいても、会わせないようにしている。
- 高齢者が認知症のため徘徊するので、部屋から出さないようにしている。
- 適切な医療や介護を受けさせない。



問合せ 保険課 城里町包括支援センター ☎029-288-3111（内線372）

秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）

秋口は日没時間が急激に早まり、夕暮れ時は視認性が低下するため重大事故につながる恐れがあります。

運転者は前照灯を早めに点灯し、歩行者や自転車利用者は夕暮れ時や夜間の外出時には目立つ服装や反射材の着用を心がけ、交通事故を未然に防ぎましょう。

問合せ 町民課 ☎029-288-3111（内線116）

＜運動の重点＞

- ①夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止（反射材用品等の着用の推進及び自転車前照灯の点灯徹底）
- ②全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ③飲酒運転の根絶